

ファンクラブ ミーティング

2019/1/20(sun)

「イベントはよく行くけど、縄文のことはよく分からない…。」という村びとさんや、ファンクラブに興味がある人のための縄文村入門として、第1回「ファンクラブミーティング」を開催しました。

講座 縄文の造形

記念すべき第一回目の今回は、村びとでもある菊地逸夫先生に「縄文の造形」について、お話をいただきました。土偶の顔かたちや模様の特徴について、また、今年は亥年ということで動物を象った土製品についても学びました。

次は資料館へ移動して、最終日を迎えた特別展・常設展のガイドツアーへ。松本彦七郎博士に始まる里浜貝塚発掘の歴史や発掘調査で分かった縄文人の暮らしぶりや身体的特徴など、里浜貝塚フルコース！

土器の模様を眺めて縄文に思いを馳せたり、縄文人骨と自分を比べてみたり…。参加者さんにも楽しみながら理解を深めていただけたようです。



講師：菊地逸夫
(元 東北歴史博物館学芸員)

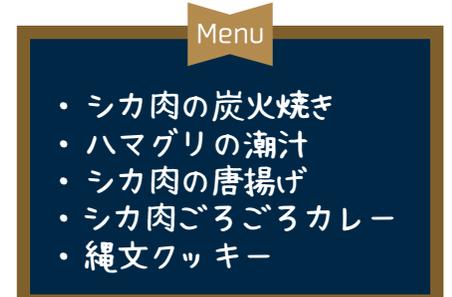
縄文ランチ

ガイドが終わったのは12時を過ぎた頃。たくさん頭を使ってお腹はペコペコです。お昼ご飯は新年会も兼ねて、贅沢にシカの足5本分のお肉を使った5品をご用意！メニューは右表の通りです。



イベント初参加の方は、シカの足をまるごと炭火で焼く光景にかなりびっくりしたようです。潮汁は縄文の塩で味付けし、土器で煮込みました。残ったハマグリ(ハマグリ)の殻は、土器作りで内側を磨くために使います。

村びとさん同士で交流を楽しむ様子も見られ、まさに「ミーティング」というタイトルがぴったりの会になりました。



「縄文〇×クイズ」に挑戦！

デザートに縄文クッキーをつまみながら、午後の部は「縄文〇×クイズ」です。縄文人の身体的特徴や暮らしぶりについて、全18問を出題。正解数が多い人から、賞品をプレゼント上位正解者には、菊地先生作のイノシシ型土製品が贈られました。



一つひとつ手作りで、顔や焼き色がちがうのもポイント！これで闘志に火が付いた参加者さん達。クイズは大いに盛り上がりました。実はガイドツアーの至るところに、このクイズのヒントが散りばめられていて、全問正解者は6名。本当に大健闘でした！

他にも、ファンクラブ初心者さんのために縄文村のイベントを紹介したり、来年のイベントの計画を説明したり…。今後も趣向を変えつつ、続けていきたいと思っています。

